

ミズハコベ

湖沼、河川、水路、湿田などで水中から湿った泥地まで、様々な湿地の環境に生育する柔らかな小型の植物です。

水田や水辺などで、葉を水面に浮かべたり湿った泥の上に生育しているミズハコベは、だ円形の明るい緑色の葉をたくさんつけて群生（ぐんせい）します。沈水状態で生育しているものは、細長い沈水葉（ちんすいよう）をつけます。とても小さな目立たない花を、葉の付け根に咲かせます。

湧水が流れる水路や河川では、ミズハコベは浮葉や沈水葉をつけて群生しています。また、一年中水がたまっている湿田の雑草としても生育します。いつも水がある日当たりのよい環境が生育に適しています。

富士市での現状

傾斜が緩やかな地域や平野部を流れる河川や水路に生育しています。湧水が流れる河川や水路では、特によく見られる水草です。明るい緑色の浮葉や沈水葉の塊は、とてもきれいでよく目立ちます。澄んだ水が流れる河川や水路では普通に見られる水草ですが、水が汚れたり濁っているところでは見られません。旧富士川町域では確認されていません。



ミズハコベの生えている様子

ミズハコベを確認したメッシュ

